

平成 29 度 第 3 回 学校協議会

平成 30 年 3 月 5 日（月）、本校校長室において、第 3 回の学校協議会を開催しました。公務の関係で、加堂恵二委員が欠席、後藤るみな委員と中谷健二委員が代理出席となりました。学校側からは、校長、教頭、事務長、各分掌長が出席しました。

今回は、今年度最後の協議会として、この 1 年の教育活動の報告や評価結果に対して、委員から助言をいただくことにより、成果と課題を確認しつつ、次年度に向けた方向性を決定していくものとしました。

内容

1. 協議会 15:00～17:00

① 学校長挨拶

② 協議事項

- ・ 校則等の点検・見直しについて
- ・ 分掌等の取り組み計画について
- ・ 授業アンケートの結果について
- ・ 学校教育自己診断結果について
- ・ S G H について
- ・ 平成 29 年度・平成 30 年度学校経営計画及び学校評価について
- ・ その他

③ 連絡

- ・ 学校運営協議会について

2. 委員からの意見等

【校則等の点検・見直しについて】

- 中学校では、髪の毛ではクセ毛などにコンプレックスがある子が縮毛矯正をしてくるケースもあるので、そういう場合は保護者も含めて話をするようにしている。素の姿でいてほしいし、お互いの違いを認め合える集団でありたいとは思っている。ルールなどについても子どもたち同士で、また保護者も含めて考えさせていきたい。
- 子どもが納得しないと受け入れられないという点はすごく納得できる。一概にルールだから、というのは難しくなっている。
- コンプレックスについてははじめ等もあるので考えていく必要あり。

【分掌等の取り組み計画について】

- 読書指導は、小学校での取り組みを、改めて高校でというのが新鮮で良い。
- 本読むということが学生だけでなくあらゆる世代で欠けている。S G H の発表の時もどれだけ本を読んだか、ということを知ることがあった。ネットだけで終わってしまう学生が多くもったいない。時間を取って何か探して読む、そしてまとめるという作業を持るとそれだけでも違う。例えば歴史の勉強にしても、教科書に載っていることより深い内容を自分で勉強する機会があれば良い。もっと広い、深い、違う

切り口で読んだりすると良い。読書指導を続けてほしい。

- プリントで配られるよりはタブレットとかの方が意欲は上がると思う。交通の便が悪い分、情報を活用し先進的な教育をしないといけない。PTAや地域との連携でも活用したい。中学校も教員のICTを活用した授業づくりは進んでいるが、生徒が使用する機会はまだまだ少ない。小中高の一貫教育の中でも、お互いにこういったことを進められたら良いと思う。
- 最終的に自分で考えて自分で判断する子どもを育てるというのを大切にしているように感じた。面談などをしていると、社会に出てもやっていけるだろうと感じた。
- どっかで働けたらいいわ、という生徒も多い。できれば能勢で働いてほしいなど強く感じる。

【授業アンケートの結果について】

- 1年生がすごく伸びている。3年・1年と比べて見ていたが、学年のカラーがあると感じる。能勢中学校合併を経験した1年生は“自分たちでしょう”というモチベーションがあるように見えた。

【学校教育自己診断結果について】

- 生徒が学校に行くのが楽しい、保護者も能勢高校でよかったというのが上がっていて良かった。生徒の性格や雰囲気も毎年変わってきているから、それが影響するのかなと思った。

【SGHについて】

- 分校生も例年と似たような活動ができることがPRになる。もっと強調していくべきだと思う。
- SGHのために遠いところからくる生徒もいる。他ならできないこともここではできる。そういう目的で入ってくる生徒もいるのだから、そういったこともPRしていくべき。発表会を中学生にも見せたい。
- SGS選抜生だけでなく、全員が関わって成果が出ているということを強調し、教科横断型で取り組んでいけば、ますます良いと思うしぜひやってほしい。

【平成29年度・平成30年度学校経営計画及び学校評価について】

- ユネスコ力は大きいと聞いた。目玉になれるものだからこそ、もっと強調していくべきだと思う。農業の先生方も忙しいが、加工室も認可されたことだし地域の人も絡めてPRしていくと良い。地域での福祉は軽音楽部やダンス部の協力を地元の人たちは喜んでいる。
- 家庭教育支援員をしているが、能勢高生の活動にはとてもありがたく思っているし、続けてほしい。小中学校の中に、もっと入ってほしい。
- 能勢に興味をもつ子が増えているのに、もっと活躍できる場があれば良い。小中高一貫教育のやりがいをもっと持てるように、次年度は、先生同士の交流も持ち、もっとわかりあえる、理解しあえるようにしていきたい。

- せっかく小中高一貫だし、交流の場が広がってほしい。地域の人や保護者にも見てもらいたい。全員が発表していることも知らなかったし、ぜひ知らせてほしい。
- 高校生がプログラムを組んで小中高で何かをする、ということをやっていると良い。PRにもなるし繋がりも持てる。
- 卒業式で吉川中学校校長と話す機会を持てたが、能勢中学校に費やしているエネルギーを吉川中学校にも費やしてほしいと言っていた。